

## ボツワナ共和国月報(2020年2月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- カーマ, マシシ, サイの密猟で新たな争い
- 2020/21年度財政演説の発表

#### 【外政】

- ボツワナ政府, エチオピアに大使館を設立する
- マシシ大統領, ガインコブ・ナミビア大統領と会談
- ボツワナ・ジンバブエ間の協力, 幅を広げる

#### 【経済】

- デビアスグループ, 好成績で新年を始める
- 7月にアフリカ大陸自由貿易協定開始する
- ボツワナ, 45億プラの商品を輸出する

#### 【文化】

- 日本の大学, ソフトボール選手を強化する

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

#### 【内政】

##### ○ カーマ, マシシ, サイの密猟で新たな争い

過去12か月で36頭のサイが殺害された。マシシ大統領は、とある小さなエリート・グループがいつもボツワナの密猟問題について辛辣なコメントをしているという憂慮すべき傾向がある旨述べた。また、野生動物保護を担当する省の高官がカーマ前大統領のサイの殺害への関与をラジオでほめかしたものの、同前大統領は関与について否定している。今後より多くの軍人が密猟のホットスポットに動員される予定である。(1日:ウィークエンド・ポスト紙 3面, 2日:サンデー・スタンダード紙 2面, 7日:ボツワナ・ガーディアン紙 1面及び8面, 7日:メヒ紙 1面及び5面)

##### ○ 2020/21年度財政演説の発表

3日, マツェカ財務・経済開発大臣は国民議会にて, 2020/21年度予算案に関する演説を行った。今年度(2020/21年度)は, 623.9億プラの歳入に対し, 676.2億プラの歳出が見込まれており, GDPの2.4%にあたる52.2億プラの財政赤字となる見通しである。120.3億プラが開発予算へ割り当てられる一方, 各省庁への割り当て經常予算は513.7億プラを想定しており, その内, 基礎教育省, 司法・国防省, 保健省, 地方自治開発省, 及び高等教育・研究・科学技術省が全体の60.2%を占めている。本年度, ボツワナ政府は, 雇用創出及び民間セクターの成長促進, とりわけ経済インフラ, 人的資源の開発, 農業分野の成長, 市民経済のエンパワーメントの促進及び輸出, 創造産業へ注力していく。(4日:デیلیー・ニュース紙 1及び2面)

### ○ IMF, 新成長モデルへの移行を助言

6日及び7日, IMFはボツワナ銀行と共同で経済の多様化をテーマにしたワークショップをカサネにて開催した。同ワークショップでは, マクロ経済への議論が集中し, IMFはボツワナが目標としている2036年までの高所得国及び知識経済への移行を達成するには, 鉱物, 政府主導型から輸出及び民間主導の新たな経済成長モデルへ変革し, 国内市場の発展, 税制改革, 不経済な準国营機関への用心, 及び他産業の発展を促す必要がある旨述べられた。(6日: デイリー・ニュース紙 1面, 15日: ウィークエンド・ポスト紙 16面)

### ○ マシシ大統領は, 白人ハンティング・サファリ企業の操り人形か

5日から8日, 第48回サファリ・クラブ・インターナショナル(SCI)が開催された。イベント中, 7日に行われたハンティング・オークションにて, 7パッケージのうち6パッケージ(1パッケージあたり像10匹の狩猟権が与えられる)がボツワナ・ハンティング業界で2013年以前に恩恵を受けた同じ白人企業に販売された。(21日: ガーディアン紙, 1面, 4面及び8面)

### ○ モルピシ静観する

27日, 一時職務停止処分を受けているモルピシ大統領府首席次官は, ハボロネ, エクステンション11の公邸で記者会見を予定していたものの, 政府より許可が下りなかったため, 同会見を取りやめた。モルピシ大統領府首席次官は, 汚職関係で公判を受けており, 今月末にはオフィスを引き払い, 高等裁判所にて第三審を受ける。(28日: ガーディアン紙 4面)

## 【外交】

### ○ ボツワナ政府, エチオピアに大使館を設立する

ボツワナ政府は1, 100万米ドルを投資し, エチオピア, アディス・アベバに大使館, 大使館員住居, メンテナンス・ワークショップ, ゲートハウス及び講堂を含む6階建ての施設を設立する。(10日: デイリー・ニュース紙 3面)

### ○ マシシ大統領, 責務を説く

マシシ大統領は, エチオピア, アディス・アベバにて, 第33回アフリカ連合総会に先駆けて行われた, 2063年アジェンダ・ハイレベルフォーラムに出席した。同フォーラムにて基調講演を行ったマシシ大統領は, 各加盟国が, 国レベルでの計画的な政策の立案と実施を行う必要性を説いた上で, 2063年アジェンダが提示するように, 加速する大陸統合を達成するためにも, 国, 地域, 大陸の方策は互いに補完し合う必要がある旨述べた。(10日: デイリー・ニュース紙 1面)

#### ○ **ボツワナ政府, APRM会議に参加する**

ボツワナ政府は、昨年協定書に署名を行ったアフリカン・ピア・レビュー・メカニズム (APRM) に参加した。記者会見にて、モルワエン大統領府・統治・公共政策担当大臣は、ボツワナにおけるグッドガバナンスの評価により、APRM 加盟国はボツワナの参加を喜ばしく考えている旨述べた。(10日: デイリー・ニュース紙 4面)

#### ○ **中国大使, 在ボツワナ中国市民に自主隔離を呼びかける**

11日、インタビューにて、ザオ在ボツワナ中国大使は、ボツワナ国内での新型コロナウイルスの拡散防止として、中国からの渡航後、自主隔離を行うよう、在ボツワナ中国コミュニティへ勧告した。また、同使は、現在セレツェカーマ国際空港などにて入国の際に利用されている11のハンドフリー体温計を供与することによって、当地保健省と協力して、ウイルスの拡散防止に努めている旨述べた。(14日: デイリー・ニュース紙 3面)

#### ○ **マシシ大統領, ガインコブ・ナミビア大統領と会談**

13日、ナミビアへ実務訪問するため、マシシ大統領はボツワナを出発した。同実務訪問はガインコブ・ナミビア大統領から招かれたもので、両国大統領は、二国間及び両国の相互利益に係る国際問題について意見交換を行った。(14日: デイリー・ニュース紙 1面)

#### ○ **ボツワナ, 6か国とビザ条約**

ボツワナ政府は、2018年4月1日のマシシ大統領就任以降、6か国とビザ廃止条約に署名した。23日の国会質疑にて、ユニティ・ダウ国際外務協力大臣は、アンゴラ及びロシアを除く、ビザ廃止条約に署名した6か国中4か国が公用及び外交旅券保有者のビザ要件を廃止しており、現在他7か国と交渉中である旨述べた。(26日: デイリー・ニュース紙 8面)

#### ○ **ボツワナ・ジンバブエ間協力, 幅を広げる**

25日から28日までの間、マシシ・ボツワナ大統領及びムナンガグワ・ジンバブエ大統領参加の元、第2回ボツワナ・ジンバブエ二国間国家委員会 (Bi-national Commission) がマウンにて開催された。同会合に出席したユニティ・ダウ国際外務協力大臣は、同会合での取り決めについて、農業、保健、教育、観光、環境、移民、鉱物、科学技術、移動及び貿易や産業などを含んだ広範囲で大規模な分野を横断するような協力であり、短期間で大きな進歩を遂げた旨述べた。同会合では、6つの覚書と1つの同意に署名がされた。(26日: デイリー・ニュース紙 1面, 27日: 同紙 3面, 28日: 同紙 3面)

## 【経済】

### ○ ボツワナの主要経済指標

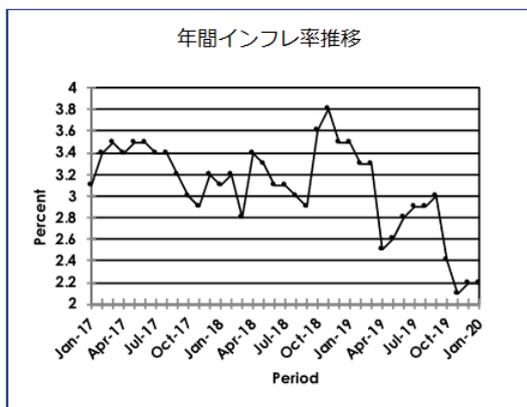
#### 1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2019年第3四半期の GDP は495億6100万プラとなり, 第2四半期(492億1160万プラ)と比べて0.7%増となった。(2018年GDP合計は1898億6850万プラ)



#### 2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2020年2月は2.2%(1月は2.2%)。



#### 3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2020年2月28日

1プラ=0.087米ドル

1プラ=1.34南ア・ランド

1プラ=9.56円

2020年1月31日

1プラ=0.089米ドル

1プラ=1.31南ア・ランド

1プラ=9.84円

[米ドル] 為替推移(1プラ=〇米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=〇円)



## ○ ダイヤモンド産業

### 1) デビアスグループ, 好記録で新年を始める

デビアス社は、前年同期の販売記録に比べ、天然ダイヤモンド販売が大きく上向いたこともあり、2020年の年を前年よりも好記録でスタートした。5日、アングロ・アメリカ社の公表によれば、2020年の販売額は5億4,500万米ドルで、2019年の販売額5億米ドルに比べ、9%の増加となっている。(1日:ウィークエンド・ポスト紙 15面)

### ○ ボツワナ航空, 政府に2億3,500万プラの債務

ボツワナ航空は政府に2億3,500万プラの債務がある。ツェケディ・カーマ国会議員からの質疑に対してツラガリ・セホコ運輸・通信省大臣は、航空会社の債務について、エンブラエルジェットを購入するため、公的サービス債務基金(PSDF)から借り入れたローンのみであり、7年を通して返済が可能である旨述べた。(6日:デイリー・ニュース紙 9面)

### ○ 7月にアフリカ大陸自由貿易協定開始する

10日、ハボロネにて、マシシ大統領は、アフリカ大陸自由貿易協定が7月1日より始まり、事務総長として、南アフリカ出身であるワムケレ・メネ(Wamkele Mene)が選出された旨述べた。(13日:デイリー・ニュース紙 1面)

### ○ ボツワナ, 45億プラの商品を輸出する

ボツワナ統計局によると、2019年11月、ボツワナの輸出総額は45億4,960万プラで、その内90.8%(41億3250万プラ)はダイヤモンドであった。(14日:ボツワナ・ガーディアン紙 2面)

### ○ 1, 100万ブラ以上, フォービスに投資

ボツワナは, 4月19日から23日に行われるフォービス・アンダー30を主催するため, 政府より約270万ブラ, 民間セクターより約830万ブラ, 合計1, 100万ブラ以上を支払うこととなっている。24日, ハボロネで開催された記者会見にて, ペギー・セラメ投資・通商産業大臣は, 成功を収めるであろう, 選ばれた起業家200名を認識するために, 同サミットは非常に重要である旨述べた。同サミットは, ハボロネ及びカサネにて開催される予定で, 37カ国から600名の起業家, うち200名がボツワナより来場, ほかに200名がボツワナ以外のアフリカ諸国より来場する予定となっている。(25日:デイリー・ニュース紙 1面)

### ○ 昇りゆく成長

24日, ハボロネで行われた貨幣政策ステートメントによると, 2020年の国内経済は, 昨年よりも3. 6%高い4. 4%の成長を見込んでいる。(27日:デイリー・ニュース紙 1面)

### ○ ボツワナ銀行貸付金レート維持

26日, 記者会見にて, モーゼス・パラエロ・ボツワナ銀行理事は, ボツワナ銀行貨幣政策委員会が, 銀行貸付金レートを4. 75%のまま維持することを決定した旨発表した。また, 同理事は, グローバル経済における低成長と新型コロナウイルスによる経済活動の低下は, ダイヤモンドの購入先である中国市場への悪影響を及ぼしかねない旨述べた。(28日:デイリー・ニュース紙 6面, 28日:ボツワナ・ガーディアン紙 3面)

## 【文化】

### ○ 日本の大学, ソフトボール選手を強化する

エネルギーな日本ソフトボール, 中京大学のチームが, ボツワナの各地で, 技術講座を開催する。6日, タボ・タマネ・ボツワナソフトボール協会会長は同チームを迎え入れ, 同日から27日まで, グッドホープ, ジュワネン, マスंगा, マウン, ハボロネのチームに所属する生徒に専門知識を教え込むための国内ツアーを行う旨述べた。(10日:デイリー・ニュース紙 23面)